

I 小中一貫教育を推進し、たくましく生き抜く力の養成

知・徳・体をバランスよく備えた「未来へはばたく府中っ子」の育成をめざします

i 確かな学力の向上

平成16年度から全国でも先駆けとして取組んできた小中一貫教育は、府中市内4学園すべてで実施し、どの学園で学んでも同じ教育を保障できるよう取組んでいます。

今後は、より充実した教育環境をつくるため、保育所・幼稚園・高等学校とも連携交流を強化していきます。確かな学力の向上のために、教員の指導力向上に取り組めます。

ii 豊かな心の育成

児童生徒に望ましい生き方を身に付けさせ、豊かな人間性や社会性を育むため、道徳教育を推進していきます。

学校の中だけでなく、社会との様々な交流場面でも豊かな心は培われていくので、いろいろな場面を経験できるよう取組んでいます。

iii キャリア教育の充実

平成17年度から、府中市内の企業との連携により、中学2年生が夏休みに5日間の職場体験を実施しています。平成27年度は、375名が135事業所で体験しました。体験期間中だけではなく、事前事後の学習も進めています。キャリア教育も人との関わりのツールとして、自分を高め、社会力の向上につなげていきます。

iv グローバル教育の充実

広島県教育委員会と共催で『世界とつながるチャンスをつかもう！』をテーマに、異文化間協働活動として、平成27年度1泊2日の「グローバル・キャンプ」を実施しました。外国語指導助手等外国人9名、海外留学経験者4名と市内小学5年生から中学3年生まで50名で交流しました。

主に英語教育中心のグローバル教育は、コミュニケーション能力の向上だけでなく、英語教育を通して、普段の言語である日本語の大切さや、他国のすばらしさを感じるにより、自分の国の良さを再認識していくものにしていきます。

Ⅱ 伝統と文化の継承

郷土の歴史を学び、伝統と文化を継承し、豊かな心を育みます
府中らしさのある自然や歴史・文化と調和したまちづくりをめざします

i 備後国府を活かしたまちづくり

備後国府跡の発掘調査が進み、国の史跡指定に向け、最終段階に入っています。

指定後には、史跡公園などとして保存活用していきます。中心市街地に近いエリアなので、土生町の歴史民俗資料館も移転する方向で、公園と文化ゾーン一体として、府中市全体の構想の中で、「国府跡」を広く知らせていきます。

ii 芸術文化活動の推進

豊かな心を育む芸術活動の推進を、公民館活動、府中市美展など通じて行います。

芸術活動に触れることは、豊かな心の育成にもつながり、伝統と文化の継承は、まさにグローバルな人材育成になるので、継承者の育成にも取り組んでいきます。

Ⅲ 学びあえる地域社会の形成

学校・地域・家庭が一体となって、学びあえる社会をつくります

i 家庭教育力の啓発

すべての教育の出発点である家庭教育の充実のために、「親の力をなまびあう学習プログラム」の充実に取り組んでいます。

ii コミュニティ・スクールの充実

学校・地域・家庭が一体となって、コミュニティ・スクールの推進を行います。

平成26年度に2校、27年度に2校指定し、平成31年度までに市内全校指定をめざし、準備をすすめています。

コミュニティ・スクールの推進は、伝統文化の継承にもつながっていくので、地域・家庭と学校の関わりを深めながら、地域の活性化につなげていくような取組にしています。

iii 生涯を通じた学習環境の充実

少子高齢化が進む中、地域の公民館などを、生涯の学びの場の拠点として利用できるよう、整備します。

学びあえる地域社会の形成には、家庭の親学、公民館活動、スポーツ活動など人とならなければならないので、整備をすすめます。

iv スポーツ活動の充実

現在、スポーツ推進計画策定中で、総合型地域スポーツクラブ設立支援や、リーダーの養成支援を行うことで、市民の豊かなスポーツライフの充実をめざします。

子どもたちの体力の低下が言われる中で、学校の体育の授業にも力を入れていますが、日頃の運動経験や遊びを考える必要があります。

IV 安全・安心な教育環境づくり

すべての施設の安全・安心をめざします

i 学校施設の整備充実

平成25年度には、市内小中学校校舎本体の耐震化工事は終了しています。

さらなる安全・安心のために、災害時に備えた窓ガラス、天井など非構造部材の耐震化や、老朽化したトイレや照明器具の改修なども順次行って、教育環境の充実をめざします。

ii 食育活動の充実

学校給食センターで完全給食を実施し、児童生徒の食育指導をさらに充実させていきます。地産地消の取組を進めることで、食に対する安全・安心な環境に取り組めます。

子どもの身体だけでなく、豊かな心の育成にも大きく関与していると言われている「食育」について、今後も力をいれていきます。

iii 活用しやすい社会教育施設づくり

高齢化が進む中、社会教育施設のバリアフリー化や、老朽化による改修を行います。

社会体育施設は、スポーツ振興、市民の健康増進、交流スペース確保のため、施設の増加や整備充実を進めます。

◆府中市教育推進計画◆府中学びプラン（平成25年度～34年度の10年間）の柱を基に作成